富山県周産期コロナウイルス感染対策協議会

感染症対応医療機関による話し合い

20210822　18:00～　Zoom meeting

出席者　伏木、谷村、中島、米田、日高、長谷川、桑間、中川、脇、吉本、佐々木、種部

協議事項

1. コロナ妊婦受入れ、産科救急対応のキャパシティ、各病院の状況と方針

- 黒部：コロナ病床 16 床→20 床、厚生センターが自分たちでトリアージをすると言っていたが、産科医に連絡のない妊婦の入院があり困惑した。
- 富山市民：感染症病棟で妊婦受入れ可。C／S対応可。産科病棟には受け入れ不可。
- 県中：MFICU5 床で感染妊婦受入れ可、最悪の場合、産科病棟すべてをコロナ病棟にすることは可（30 床あまり）。
- 富大：MFICU使用不可。産科病棟で 2 床は何とか可能。C／S不可、NICU受入れ不可。
- 日赤：中等症 18 人ほど入院、もう少し受入れ可能。C／S不可。県中の代わりに分娩を受けることはできるが、35 週 2000g 以上に限る。
- 高岡市民：40 床、産科病棟には受け入れ不可、C／S 可。
- 厚生連高岡：重症を受けている、産科病棟には受け入れ不可、C／S不可。
- 済生会高岡：15 床、産科病棟には受け入れ不可、C／S不可。
- 砺波総合：40 床、産科病棟には受け入れ不可、C／S 可。

感染妊婦への対応状況（20210822 時点）

	感染症病床での妊婦受入れ	産科病床での感染妊婦受入れ	感染妊婦対応の手術室（C/S 可）	感染妊婦の外来診察（自宅等療養中の妊婦の産科的診察）
黒部市民病院	○	×	○	未定
富山市民病院	○	×	○	未定
県立中央病院	○	○（MFICU5 床、最悪の場合産科の全病床）	○	○
富大附属病院	○	○（2 床）	×	？
富山赤十字病院	○	×	×	×
高岡市民病院	○	×	○	未定
厚生連高岡病院	○	×	×	×
済生会高岡病院	○	×	×	×
砺波総合病院	○	×	○	未定

＊県内全体で、週 4 件ほどまでなら分娩（概ね C/S）対応可能

2. 感染拡大による医療体制逼迫時の受け入れ態勢、役割分担

- C／S ができる感染症指定医療機関で、可能な週数の分娩に対応。
- NICU 必要な感染妊婦は県中で分娩対応
- 県中が逼迫した場合はそれ以外の病院でその分正常分娩をカバーできるか→無理

3. 搬送に関する取り決め（入院調整・厚生センター・ホテル療養担当者への申し入れ）

- かかりつけ医と医療圏の感染症指定医療機関産科医で話し合い、受け入れ先決定し、厚生センター等へ連絡。
- 富山医療圏については、二次輪番の産科医と相談（日赤が輪番の場合は富山市民病院か県中）

4. ホテル療養・自宅療養妊婦へのアナウンス

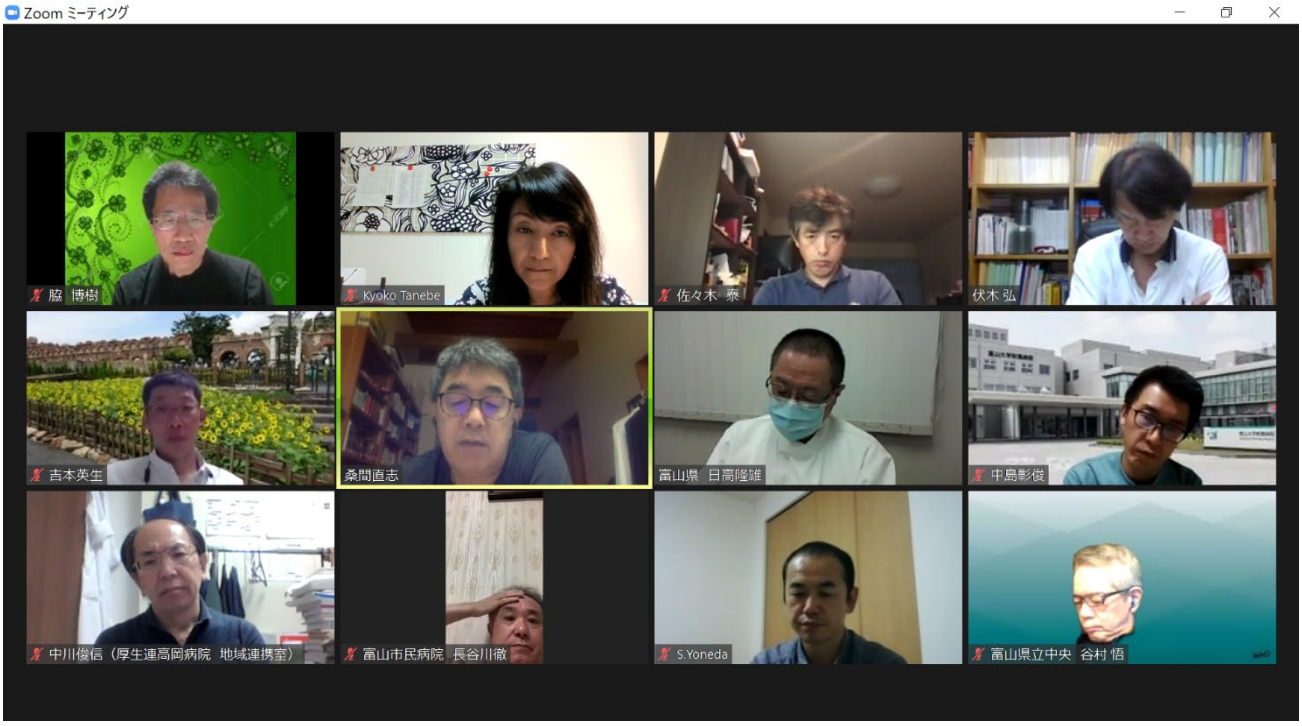
- 明日の日本産婦人科医会からの通知に従い、アナウンスを行う。

5. ワクチンについて（要望含め）

- 病床逼迫させないために、積極的接種を呼びかける（県に要望提出を検討）
- 妊婦への接種を躊躇する医師がいる→報道の効果を期待

6. リエゾンに関する周知

- 妊婦向けリーフレット（種部加筆）、ワクチンに関する要望、リエゾンに関する情報をあわせて、厚生部長に要望および情報提供し、報道を入れることを検討

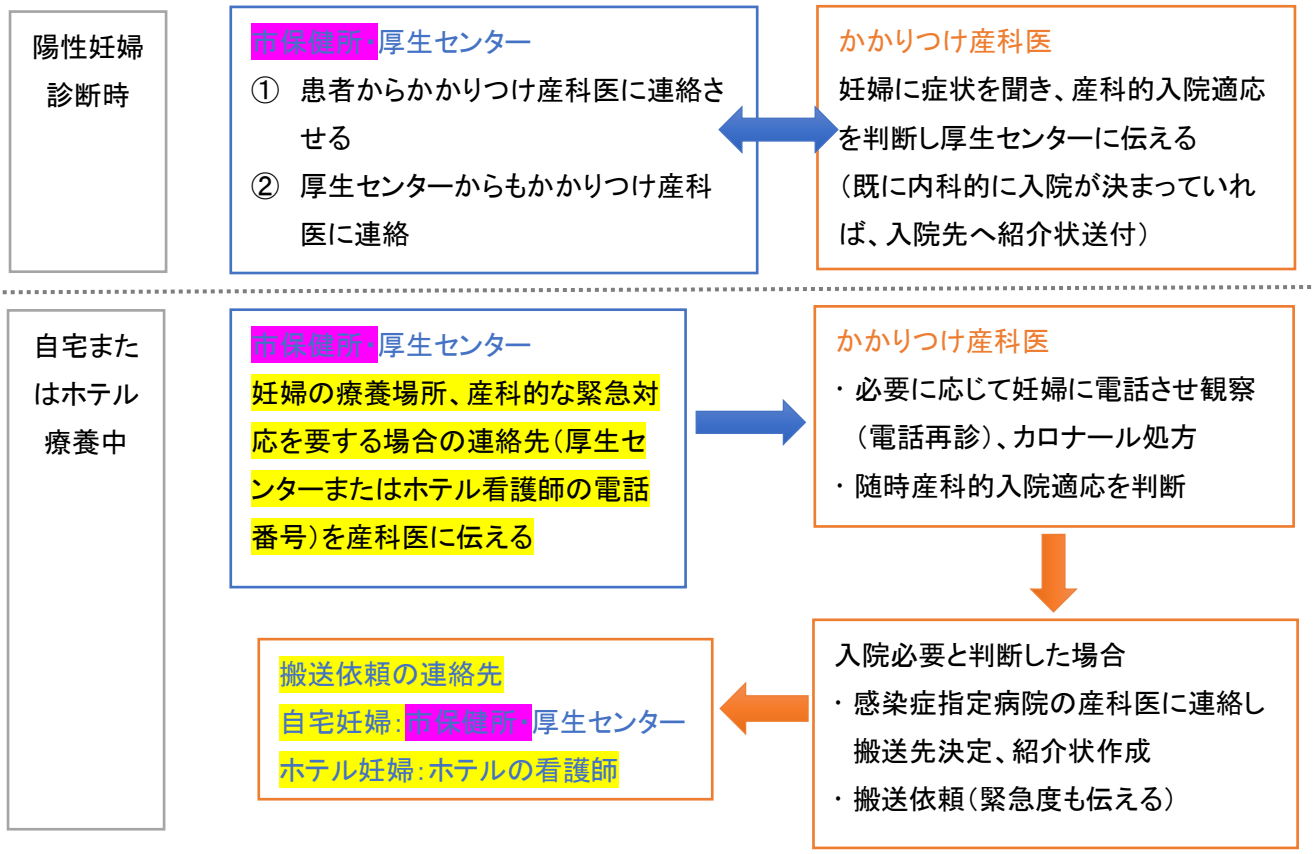


第 2 回　富山県周産期コロナウイルス感染対策協議会　　2021 年 8 月 17 日

Ver2 2021 年 8 月 19 日、8 月 22 日アップデート、Ver3 8 月 22 日

これまでは、妊婦については必ず感染症指定病院へ連絡があり入院管理を基本としていましたが、入院調整に時間を要するようになってきており、今後、ホテル療養や自宅療養の選択肢も出てきます。

産科医が把握しない待機患者をなくすこと、待機中の急変時に速やかに対応することを目的とし、また内科的に入院が決定している場合でも産科情報を受入れ病院が速やかに得るためにも、本協議会として以下のような体制で対応します。



産科的に入院管理が望ましい場合（以下のような症例）

＊妊娠 36 週以降の場合（多胎は 32 週）

＊切迫流早産で子宮収縮抑制剤の投与が行われているにも関わらず症状が持続・悪化する場合

＊尿蛋白陽性や軽度の高血圧で妊娠高血圧症候群もしくはそれに準じる状態の場合

＊妊娠糖尿病や内科的な合併症がある場合（おそらく市保健所・厚生センターは入院と判断）

＊その他産科主治医が必要と判断した場合（早産既往などを考慮）

注：上記の産科的判断は本協議会の基準で行われ、産科医は内科的な判断は行いません。

危機的状況であり、通常時の診察の要否や入院判断基準とは異なります。

待機決定前の強い腹痛や大出血、破水がある場合は患者自身がすでに行動しているため範囲外とする。

市保健所・厚生センターへのお願い

1）PCR 陽性者への連絡時

① PCR 陽性者の妊娠の有無を確認し、妊婦自身からかかりつけ産科主治医（クリニックなども含む）へ電話するよう必ず伝えてください。

② コロナ感染及び患者情報に関し、受入れ病院やかかりつけ産科医に提供することを口頭で了承を得て、かかりつけ産科医に電話してください。

※ 患者からも市保健所・厚生センターからもかかりつけ産科医に連絡することになります。

※ かかりつけ産科医が産科的入院適応を判断します。

※ 自宅またはホテル療養になった場合、産科的な緊急対応を要すると判断した場合の連絡先（厚生センターまたはホテルの看護師の電話番号）をかかりつけ産科医に伝えてください。

2）濃厚接触者への連絡時

妊娠の有無を確認し、妊婦自身から産科主治医（クリニックなども含む）へ濃厚接触者であることを電話するよう必ず伝えてください。 結果が出た場合は陰性であっても再度電話するよう伝えてください。

※ 厚生センターからかかりつけ産科医への連絡は不要です。

ホテルの医師看護師へのお願い

産科的症状の管理、入院の適応判断はかかりつけ産科医が行います。

産科症状はかかりつけ産科医に連絡することを伝えてください。（かかりつけ産科医からも伝える）

症状の相談は患者から直接かかりつけ産科医に電話してもらうようにしてください。

※ かかりつけ産科医が入院と判断した場合は、ホテルの看護師と連絡を取り合い、対応を協議します。（産科医が入院先を調整し、直接看護師に電話することになります。）

補足

- 内科的な健康管理は市保健所・厚生センターで行ってください。産科医師は対応しません。
- かかりつけ産科医は産科的理由で入院が必要と判断した場合は感染症指定病院と入院調整済予定です。急がない入院の場合は市保健所・厚生センターが介在する場合もあります。電話で直接話してください。

かかりつけ医がない場合の PCR 陽性妊婦の取り扱い

- 初期で病院未受診の場合 →産科症状悪化時は患者が各地域の輪番へ連絡し受診。
  日中は各医療圏感染症指定病院へ患者から電話してもらう 。
- 県外から里帰りで県内未受診 →口頭で同意を得て各医療圏の感染症指定病院へ連絡。
  伝える情報：氏名、携帯電話番号

かかりつけ産科医（含むクリニック医師）の対応

内科的に自宅またはホテル待機可能と市保健所・厚生センターが判断した場合のみ

1） PCR 陽性妊婦

＜妊婦からの電話＞

- 感染症指定病院へ紹介状を送る場合があることの了承を得てください。
- 産科的に自宅・ホテル療養でよいか判断し、自宅・ホテルの場合は患者から産科主治医に連絡すべき症状を伝えてください。
- 毎日電話しても可。（電話再診料に加えて二類感染症患者入院診療加算の算定ができます。厚労省HP 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その54）を参照。）
- 内科的症状は市保健所・厚生センターに連絡するよう伝えてください。
- 発熱や頭痛がある場合はカロナール処方されているかどうか確認し、必要に応じてカロナールを十分な量処方してください。（濃厚接触者の可能性がある家族に薬や処方箋を渡す場合は、医療機関の玄関外での受け渡しも考慮。）

＜厚生センターからの電話＞

- 産科的入院適応の有無を伝えてください。
- 先に市保健所・厚生センターから連絡があるかもしれません。その場合は折り返しになります。

＜自宅・ホテル療養中の妊婦が産科的に入院を必要と判断した場合＞

- 各医療圏の感染症指定病院へ連絡し、受け入れ確認後紹介状を送る。（フェーズによる受入れ病院は下図）
- NICU が必要なケースは富山県立中央病院~~または富山大学~~に連絡する。（富山県母体搬送ガイドラインに則る）

入院が必要と判断した場合の連絡

① 感染症指定病院に連絡し受け入れ先を確認し、紹介状を送る

＊患者の携帯番号を必ず伝えてください！！

新川医療圏：黒部市民病院、 富山医療圏：二次救急輪番病院（日赤が輪番の場合は富山市民病院または県立中央病院、済生会富山が輪番の場合は富大附属病院）

高岡医療圏：高岡市民病院、 砺波医療圏：市立砺波総合病院

② 自宅療養 緊急時 ~~患者に救急車を呼んでもらう または~~

市保健所・厚生センターに連絡し救急車を手配してもらう

準緊急時 厚生センターに連絡し移送手続きをしてもらう

ホテル療養 緊急時 ホテル Nrs に救急車を手配してもらう（←患者が電話できない場合も想定し、ホテルの Nrs の連絡先を事前に教えておいてもらうことにしました）

準緊急時 ホテル Nrs→市保健所・厚生センターに連絡してもらい移送手続きをしてもらう

※ 移送方法の注意

自家用車の場合には受け入れ病院が患者に直接時間と場所を別に指定します。

（病院により入り口が通常と異なるため）

＊迷った場合は各医療圏の感染症指定病院の産科医に相談する。
＊厚生センター経由以外で移送された患者は、受入れ医療機関の感染症対策医師から県に連絡してもらう。
＊内科的な健康管理と入院調整は、自宅療養者及び待機者は市保健所・厚生センター、ホテル療養者はホテル看護師の役割です。患者さんから内科的な訴えがあった場合は市保健所・厚生センターかホテル看護師に言ってもらってください。
＊フェーズにより自院の外来診察で対応可能な場合は自院で行ってもらう場合もあります。
＊ホテル・自宅待機になった段階で紹介状を仮に作成しておくとよいかもしれません。

2）濃厚接触者（厚生センター基準）

＜妊婦からの電話＞

- 感染症指定病院へ紹介状を送る場合があることの了承を得る。
- 産科的に自宅待機でよいか判断し、待機の場合は産科主治医に患者から連絡すべき症状を伝える。毎日電話しても可。
- 内科的症状は市保健所・厚生センターに連絡するよう伝えてください。

＜PCR 検査結果未の場合または PCR 検査結果陰性だが発熱などの症状がある場合＞

- 産科的に入院を必要と判断した場合は各医療圏の感染症指定病院へ連絡し、受けいれ確認後紹介状を送る。（フェーズによる受入れ病院は下図）
- NICU が必要なケースは富山県立中央病院または富山大学に連絡する。（富山県母体搬送ガイドラインに則る）

＜PCR 検査結果陰性で発熱などの症状がない場合（14 日間待機中）＞

- 自院で対応できるよう備えてください。抗原検査などできるようにしてください。

掲載病院は入院・分娩などに備えた訓練など対策をお願いします。

＊分娩取り扱い施設でなくても初期流産などの対応をお願いする状況があり得ます。

＊ここに記載のない医院・病院でも妊婦さんを診ておられる施設が対応せざるを得ない状況があり得ますので、備えをお願いします。（学会・医会通達より）

新たな病床確保の方針

※かっこ内は重症患者の内数。●は新たに加わった病院。入院患者数は目安

医療圏	病院名	入院患者数(1日当たり) フェーズ1（～35人）	フェーズ2（35～70人）	フェーズ3（70～140人）	140人～
新川	黒部市民	4	16	50 (3)	50 (3)
	富山労災	—	5	15	30
	●あさひ総合	—	2	2	2
富山	県立中央	15 (4)	30 (4)	70 (10)	70 (10)
	富山市民	23	41 (2)	50 (4)	50 (4)
	富山大付属	7 (6)	18 (6)	50 (8)	50 (8)
	富山赤十字	10	19	19	35
	済生会富山	—	12	12	25
	厚生連滑川	—	2	2	20
	●国立富山	—	5	5	5
	●かみいち総合	—	2	2	2
	●富山西総合	—	—	—	10
高岡	高岡市民	18	24	50	50
	厚生連高岡	2 (2)	2 (2)	30 (8)	30 (8)
	済生会高岡	—	5	15	25
	氷見市民	—	5	13	25
	●射水市民	—	4	4	4
	●高岡ふしき	—	3	3	3
砺波	市立砺波総合	4	9	40 (3)	40 (3)
	●南砺市民	—	—	6	6
	計	83 (12)	204 (14)	438 (36)	532 (36)

感染妊婦への対応状況（20210822 時点）

	感染症病床での妊婦受入れ	産科病床での感染妊婦受入れ	感染妊婦対応の手術室（C/S 可）	感染妊婦の外来診察（自宅等療養中の妊婦の産科的診察）
黒部市民病院	○	×	○	未定
富山市民病院	○	×	○	未定
県立中央病院	○	○（MFICU5 床、最悪の場合産科の全病床）	○	○
富大附属病院	○	○（2 床）	×	？
富山赤十字病院	○	×	×	×
高岡市民病院	○	×	○	未定
厚生連高岡病院	○	×	×	×
済生会高岡病院	○	×	×	×
砺波総合病院	○	×	○	未定

＊県内全体で、週 4 件ほどまでなら分娩（概ね C/S）対応可能